

令和4年度事業計画

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、一部事業の見直しを図りながら、東北での大型キャンペーンに合わせた事業やはなまきウインターキャンペーン、花巻市から受託した「花巻お土産品応援キャンペーン」などを実施しました。事業実施に当たっては、ターゲットを絞ったプロモーションや当協会にかかる販売手数料の減免などを行いました。また、国補助金の活用による専門人材の登用により、デジタルマーケティングの体制強化に努めました。

令和4年度はポストコロナを見据え、観光の再興に向けて準備をする重要な一年と位置付け、本市の強みである温泉を軸に、市内周遊や滞在延伸を図る観光の推進に取り組みます。誘客及び物産振興においては、マーケティングを活用し多様化する顧客のニーズを捉えるとともに、地域の新たな魅力の発信や効果的なプロモーションを実施します。まだ先が見えない状況ではありますが、情勢の変化に応じて柔軟な協会運営に努めて参ります。

なお、事業の推進に当たっては、企画・誘客・物産各委員会及び3委員会をまとめた合同委員会で検討・検証を重ね、国の観光施策や観光関連産業の動きに順応しながら、県、市、観光関係団体等と連携を密にし、観光地経営の視点に立った事業展開を図ります。

※事業名右側の金額は予算額、()内は前年度当初予算額、対前年比増減。

I 情報発信 13,365 千円

1 パンフレット等作製事業 9,165 千円 (9,294 千円 △129 千円)

花巻旅図鑑、花巻へ行こう、温泉三昧、飲食店ガイド等の観光パンフレットを作製し県内外で配布するほか、市内観光施設、会員施設、コンビニエンスストア等にも配架し、観光客の利便性向上を図ります。

2 宣伝広告事業 4,200 千円 (3,200 千円 +1,000 千円)

旅行誌、テレビCM、新聞、YouTube、Google ビジネスパートナー等を活用しタイムリーな情報発信を行います。あわせて、ホームページでの情報の充実を図り、アクセス数の増加を目指すとともに、効果測定にも努めます。

また、地域の皆様に Google ビジネスパートナーのオーナー登録をしていただくために、協会内に相談窓口を設置します。

II 国内誘客 12,400 千円

1 誘客推進事業 5,900 千円 (5,600 千円 +300 千円)

市内回遊を目的に、JR東日本「重点販売地域」の指定期間(対象：北東北3県、7月～9月)にあわせ、花巻駅を拠点としたガイド付き市内街歩き企画や、4月から11月までの月に一度、花巻の特色を生かしたガイド付きツアー「はなたび」を実施します。あわせて、着地型コンテンツの販売促進のため、体験プログラム動画の作成やSNSを活用したプロモーションを実施します。

また、9月から11月まで、花巻駅を拠点としたレンタサイクル実証実験において利用者アンケートやルート検証を行い、次年度以降の導入に向けて検討します。

そのほか、旅行会社へのセールス及び岩手県観光協会主催の誘致説明会等を積極的に活用し誘客を図ります。

2 教育旅行誘致事業 **400 千円**（800 千円 △400 千円）

これまで重点地域としていた北海道及び関東・大阪に加え、コロナ禍により花巻への来訪が増加傾向にある青森県・栃木県・茨城県の旅行会社へのセールスを実施するほか、岩手県観光協会主催の誘致説明会等を活用し誘致活動を行います。

また、花巻グリーンツーリズム推進協議会などの各種体験学習の提供団体と連携し、スムーズな受入れ体制の整備と情報発信に努めます。

3 宿泊施設利用促進事業 **6,100 千円**（同 額）

観光客が減少する期間を重点に、OTAなどを活用し、スカイランタンイベントなど会員が実施する誘客企画への支援や花巻12湯プロモーションを行い、宿泊客の増加を図るほか、連泊者推進を目的とした企画を実施します。

Ⅲ 受入態勢整備 **20,100 千円**

1 観光ルート整備事業 **9,450 千円**（10,850 千円 △1,400 千円）

市内観光施設を周遊する「どんぐりとやまねこ号」の運行においては、魅力あるコース設定をすることにより利用客の増加に努めます。

また、神楽や雛祭り等のイベントに合わせた二次交通を整備し、観光客の利便性向上を図ります。

2 歓迎はなまきおもてなし事業 **1,310 千円**（同 額）

SL銀河の出発等に合わせ、花巻ならではのおもてなしとして鹿踊の演舞等を実施し、魅力度の向上を図りリピーターに繋がめます。

また、市民のおもてなしの心と観光意識の醸成を図るために、引き続きはなまき通検定を実施します。

3 観光おもてなしガイド事業 **1,200 千円**（同 額）

観光おもてなしガイドの派遣を実施し、観光客の利便性・満足度の向上に努めます。

また、ガイドのスキルアップのために研修会や先進地視察を行うほか、養成講座の実施により観光おもてなしガイドの新規加入促進を図ります。

4 観光案内所運営事業 **8,140 千円**（8,380 千円 △240 千円）

花巻観光案内所(花巻駅)、花巻観光センター(新花巻駅)及び大迫観光案内所(早池峰と賢治の展示館内)で観光案内業務を実施し、観光客の利便性向上に努めます。

IV 国際観光 4,200 千円

1 外国人観光客誘致促進事業 4,200 千円 (5,000 千円 △800 千円)

Facebook(繁体字、英語、タイ語)、Weibo(簡体字)による個人向け情報発信を重点に実施するほか、国・県や関係機関との連携し、商談会・旅行博等のイベントでのPRに取り組みます。

V 観光物産振興 21,912 千円

1 物産振興事業 5,879 千円 (7,000 千円 △1,121 千円)

観光物産品の紹介宣伝、販路拡大並びに地場産業の発展を図るため、ポストコロナに対応した観光物産展を県内外の会場で開催します。

また、市名の「花」に関連した「花と物産品フォトコンテスト」や新たな特産品開発を支援する「花を感じる 花巻みやげコンクール」を実施します。

2 森の店っこや運営事業 7,433 千円 (6,838 千円 +595 千円)

宮沢賢治童話村内の「森の店っこや」において物産品を販売するとともに、童話村を訪れる観光客に対し積極的に花巻のPRを行います。

また、森の店っこや「花巻特産品オンラインショップ」のアクセス数の増加を図り、販売促進に繋がります。

3 ふるさと納税推進事業 8,600 千円 (5,978 千円 +2,622 千円)

ふるさと納税返礼品に係る事務を花巻市から受託し、特産品等のPRを図るほか、ふるさと納税返礼品提供事業者を対象に、選ばれる商品づくりの参考となるセミナーを開催します。

また、会員と協同して新しい返礼品の開発に取り組み、販路拡大を図ります。

VI 連携・支援 2,200 千円

1 イベント等支援事業 2,200 千円 (同 額)

観光行事・イベントを支援するとともにPRを実施します。

VII 施設管理 29,695 千円

1 花巻市交流会館管理運営事業 29,695 千円 (30,289 千円 △594 千円)

花巻市交流会館の指定管理業務を花巻市から受託し管理運営するとともに、観光物産品の紹介、県内外の観光情報の収集・展示、教育旅行等団体の研修会場としての活用に努めます。